

平成 27 年産 紀南の梅産地情報

15/04/21

1. 4月6日の定点着果調査では、小梅の着果数は前年・平年並みであった。古城の着果数は前年・平年より少なかった。主力の南高では、着果数は前年より少なく、平年並みであった。



4月18日時点の実肥りは、南高で21.7mmとほぼ前年・平年並みとなっている。

定点調査の着果数（枝径2㍉の枝当たり）と着果率

品 種	平年 (H17~26)		平成 26 年		平成 27 年			
	着果率	着果数	着果率	着果数	着果率	着果数	平年比	前年比
小 梅	33.5%	128	32.4%	141	36.6%	139	109%	98%
古 城	10.2%	36	9.8%	34	5.7%	19	53%	57%
南 高	15.2%	52	18.4%	61	13.5%	48	92%	78%
在来系	14.8%	46	18.8%	35	11.6%	27	59%	79%

2. 4月17日梅部会まとめの生産予想量は、小梅857ト（前年比120%、平年比96%）、古城630ト（前年比92%、平年比72%）、南高22,222ト（前年比82%、平年比93%）、在来系381ト（前年比64%、平年比59%）を見込んでいる。

生産量は今後の気象等により変動することがある。

3. 出荷販売時期は、現時点で小梅は5月中旬頃から、古城は昨年並みの5月下旬頃から、南高では5月末頃からの販売を予定している。

4. 結実後の気温は、3月上旬以降平年よりやや高めで推移している。4月に入り降雨が続いており、日照不足による生育や品質への影響が心配される。

月 旬	平均気温 °C				降水量 mm			
	平年	25 年	26 年	27 年	平年	25 年	26 年	27 年
3月中旬	9.6	13.0	11.4	11.8	43.2	25.5	30.0	51.0
3月下旬	10.8	13.0	13.4	11.9	46.9	13.0	57.5	11.0
4月上旬	13.1	14.2	12.6	15.4	46.6	41.5	2.5	97.0

南紀白浜気象データより（平年は白浜気象データ）